

「心豊かな子どもを育てるために必要なこと」

論点は
ここだ！

この課題で求められていること

- ①心豊かな子どもを育てることが、なぜ必要なのかを説明する。
- ②子どもの気になる行動を1つ取り上げる。
- ③その行動にある背景を踏まえ、これからの心構えについて、自分の考え、意見を主張する。

評価のポイント

この設問では、まず、心豊かな子どもを育てる必要性についての説明が求められます。よりよい社会の未来を担う子どもたちにとって、健やかに育つことがいかに大切なのかを簡潔に示すとよいでしょう。

次に、子どもに関する適切な事例を取り上げることができたかどうかの評価の対象となります。「心豊かな子ども」という表現は非常に抽象的ですので、その対極にある「問題を抱えている子ども」について論じると展開しやすくなります。「小論文まとめワーク」では「不登校」や「児童虐待」

に関する統計を取り上げていますが、ほかの事例を取り上げている場合は、内容が正しい知識に基づいているかを判断することが必要です。

そして、取り上げた事例が引き起こされた「背景」について、しっかりと書いているかどうか問われます。採点者は、知識として適切なものかという点も確認しています。背景を踏まえ、心の豊かさをどのように育ていけばよいのかについて述べ、自分自身、そして家庭や地域社会が気を付けるべきことを「心構え」としてまとめるとよいでしょう。



気を付けたい答案例とアドバイス

✕「最近、テレビで子どもの問題が取り上げられていた。」

➡ ○ 取り上げられていた内容を具体的に示す。

子どもに関するどのような問題が取り上げられていたのかを示しましょう。例えば「最近、キレる子どもが増えているというニュースを見た。番組に出演していた教師歴何十年というベテランの先生によると、何か思い通りにならないことがあるとすぐキレる子どもが増えているという。」のように、その内容を具体的に書くことによって、あなたに知識がしっかりあることを示すことができます。

✕ 現在の子どもに関する事例やその子どもを取り巻く環境に関する説明の部分が長すぎる。

➡ ○ 「知識」は簡潔にまとめる。

「小論文まとめワーク」を参考にしたり、あるいは別のところで聞いたり調べたりして、課題に対する知識を得ると、ついそれを多く書いてしまいがちです。もちろん、子どもを取り巻く環境がどのようなものかという説明を書くことは必要ですが、そればかりを多く書いて、肝心の「心豊かな子ども」に関する記述が少なくなってしまうのは問題です。

×「子どもがなぜ問題行動を起こすのかわからない。」

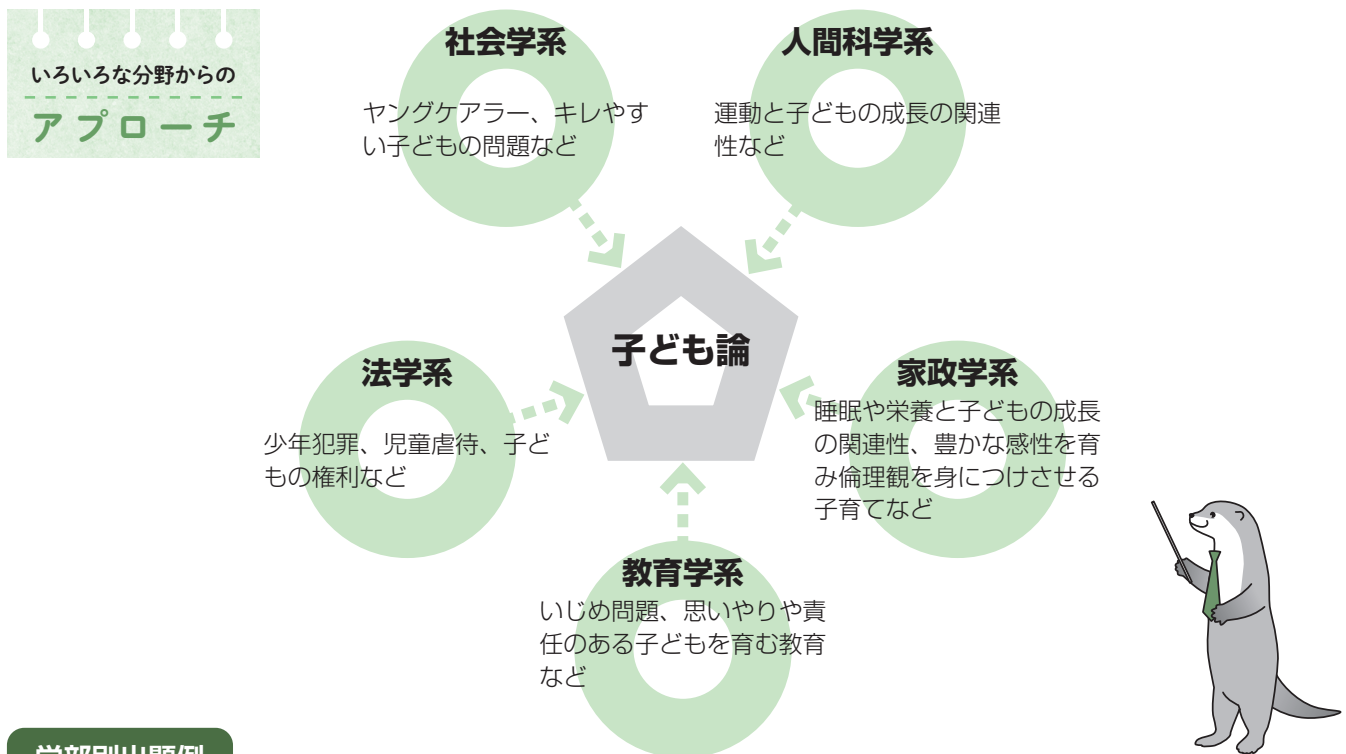
→ ○ 問題行動を起こす子どもが現れる原因や、そうならない子どもを育てるための改善策を具体的に示す。

「わからない」にとどまらず、なぜ問題行動を起こすのか、問題行動を防ぐにはどうすればよいのかを考えるのが小論文です。そのような子どもが現れてしまう「原因」や「背景」を考察し、その問題を解決するための具体的な「改善策」を提案してみましょう。

×「心豊かな子どもを育てるために親や社会には頑張ってもらいたい。」

→ ○ 自分には何ができるのかを考える。

たしかに、子どもたちを育てた親や社会の責任が一番大きいのは当然です。しかし、高校生も学校を卒業すれば、遠くない将来に社会に出ることになります。その中には親になる人も多いでしょう。社会に出ていく1人の人間として、地域や行政の取り組みにはどのようなことが必要で、そして1人の親としてはどのようなことができるのか、それを明らかにすると、整理された文章を書くことができます。



学部別出題例

【A大学（教育学部）】

「時間」「空間」「仲間」という3つの語を用いて、今日の子どもたちの遊びをめぐる状況と課題について、具体的事例を挙げて考えを600字以内で述べる。

【B大学（経済学部）】

日本における子どもの貧困状況を説明する文と図表より、国・地方自治体・企業が実施すべき対策などを書く。(1200字)

【C大学（社会福祉学部）】

子どもの教育に関わって「早寝 早起き 朝ごはん」という言葉が言われている背景について考えたことを800字以内で述べる。

【D大学（子ども学部）】

課題文を読み、これから自分が子どもに関わる時、どのような姿勢で接するかを600字程度で述べる。